

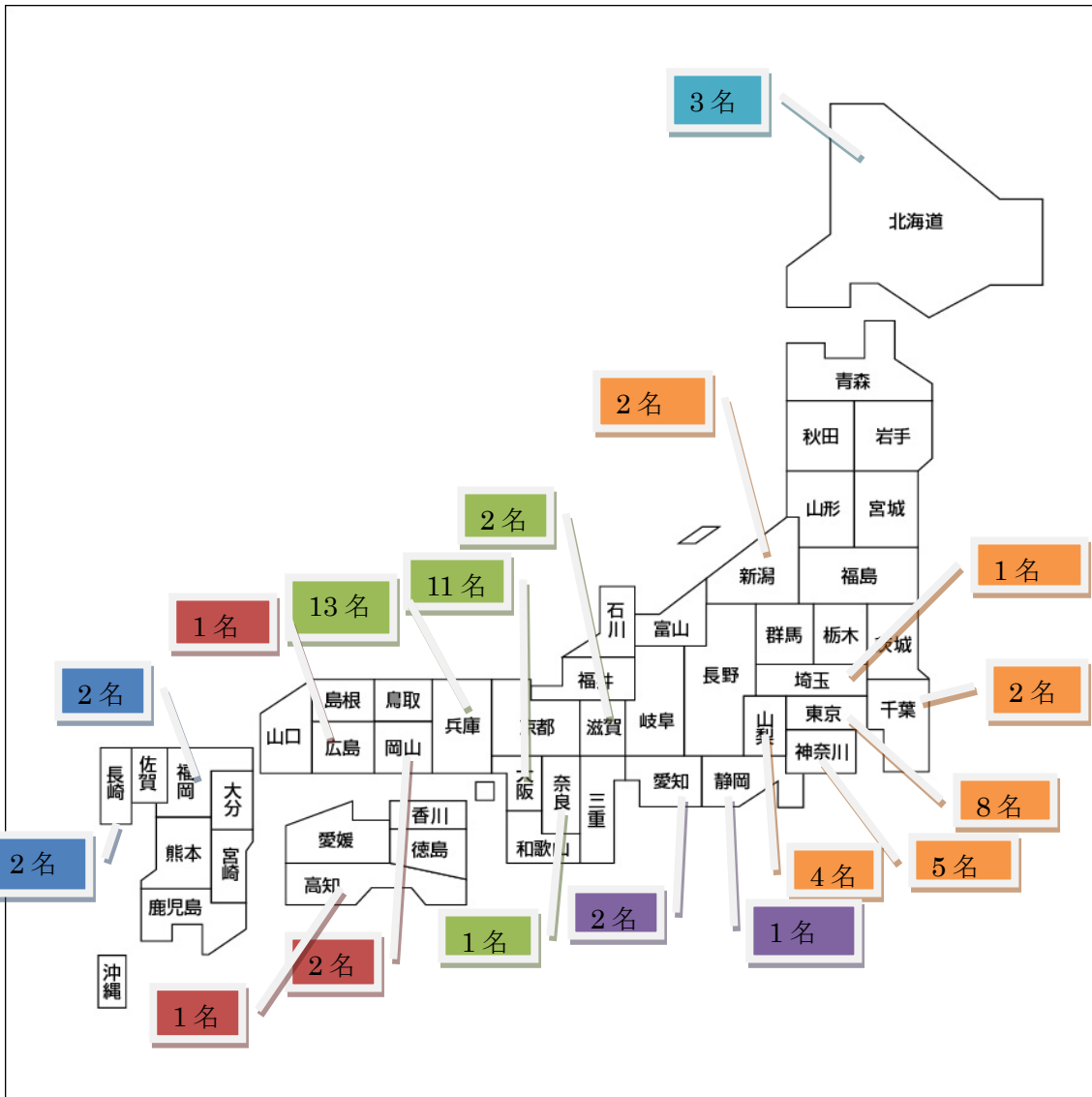
# 慢性疾患看護専門看護師の活動

慢性疾患看護専門看護師が誕生してから、7年が経ち、63名が全国で活動をしています。

慢性疾患を持つ人々の増加とともに、合併症や併発疾患で入院している患者さんも多くなっています。ケアや治療は複雑化し、適切なケアや支援がなければ問題解決がさらに困難となり、患者・家族のQOLだけでなく、看護職のモチベーション、病院経営に影響を及ぼします。

慢性疾患看護専門看護師は、慢性疾患を抱える患者・家族に入院中や外来、地域でのかわりを通して、効果的なケアを提供し、自己管理や在宅療養をサポートします。また、ケアを継続して提供するための看護外来の立ち上げや看護スタッフの育成に取り組んでいます。

## どこにいらっしゃるのでしょうか？ 慢性疾患看護専門看護師の分布



## どのような領域で活動しているのでしょうか？ サブスペシャリティ

＊慢性疾患は領域が広く、各自が得意とする疾患群をサブスペシャリティとして持っています。もちろん、それ以外の慢性疾患にも対応しています。

糖尿病、生活習慣病(予防含む)、呼吸器病、消化器難病、循環器病、腎臓病、神経難病、関節リウマチ、肝臓病、脳卒中リハビリテーション、がん、アレルギー性皮膚炎、禁煙サポート、退院調整などにも対応しています。

どのような活動をしているのでしょうか？ 活動状況

ケアシステムの構築・調整

- ・療養指導室、看護相談室などの開設
- ・看護ケア外来システムの導入、運営支援
- ・療養支援、継続看護システム、退院支援システムの開発
- ・院内外チーム医療の推進/設立
- ・特定健診・保健指導システム導入

看護師/ケア提供者の教育・サポート

- ・院内研修のプログラム化（看護倫理、看護研究、看護理論、専門コース、フットケアなど）、研修の講師
- ・臨床実践能力向上のための教育プログラム立案/評価/修正
- ・キャリアラダーと評価ツールの作成
- ・看護を語る会の企画/開催、事例検討、カンファレンス
- ・看護研究支援、学生指導（基礎教育、大学院教育）
- ・メンタルヘルスサポート
- ・医療スタッフのコンサルテーションに対応

効果的ケアの提供

- ・困難な問題を抱えた患者・家族への介入/直接ケア/生活調整
- ・療養相談、病気の受容にかかわる支援、
- ・患者/家族の意思決定サポート、倫理調整
- ・退院支援/在宅療養支援
- ・看護実践の研究報告

どのような評価を得ているのでしょうか？

患者・家族

困った時に相談できる  
相談に乗ってもらえて安心できる  
気持ちが楽になった 相談室があってよかった  
見てもらうと安心できる 命を助けてもらった  
療養のアドバイスが得られる 患者にとって必要  
自分を認められるようになった  
もっと早くに知りたかった

看護職

困難事例や調整に苦慮する患者・家族へのケアについてSOSを発信できる  
困ったり分からないときは聞けるので安心、研究や勉強をしたい時、システムを立ち上げる時など相談でき支援してくれるので心強い。CNS が関わり成果が得られた時のことを思い出し、同じようにやってみようと思える。

他職種

医師から…治療効果が現れ難い患者、精神的に落ち込んでいる患者、調整が困難な患者・家族への対応を依頼できる。困った時は頼める。適切な意見を言ってくれる。きちんと対応してくれる。外来診療で補えない部分をサポートしてくれている（外来診療時間の短縮にもなっている）

以上のように、慢性疾患看護専門看護師の活動は、臨床実践能力、看護の質の向上、患者・家族のQOL向上に貢献しています。また、看護職のモチベーションをサポートするとともに、在院日数短縮化や診療報酬獲得（在宅療養指導料、フットケア加算など）にも寄与し、病院経営への貢献にもつながっています。